

名古屋徳洲会総合病院  
大垣徳洲会病院  
心臓血管外科 術後の会 会報

# ハート通信

ご挨拶(医師) ..... 2P~3P  
新型コロナウイルスについて(検査科) .... 4P  
プラス・テン(リハビリテーション科)..... 5P  
術後体験記 ..... 6~7P  
ご挨拶(会長)、トピックス..... 8P

34号



心臓血管外科 総長  
大橋 壯樹

## ご挨拶

暑さ厳しく、また新型コロナウイルス感染が収束しない中、健康、生活に不安を抱えながら過ごされているのではないかと心配しております。科学、医療技術の発展が目覚ましいなか、新型コロナウイルスや自然災害に打つ手がない現状を考えますと、自然に打ち勝つのではなく自然と共に生きていかなければならないと思う日々です。

今年の術後の会は残念ですが、中止とさせていただきます。その代わりに、10月7日(水)に『オンライン心臓血管外科術後医療講演』を開催させていただきます。心臓血管外科手術について代表的な手術を分かりやすく説明したのち、術後の患者さんからの困っていること、気になること等の質問をその場でお答えするという講演を行います。術後の患者さんが少しでも安心して健康な生活をおくれるようにオンラインで講演をさせていただきますので、スマートフォン、パソコンで参加していただければと思います。

大きな手術を乗り越え回復された皆さんですから、そう簡単にこの自然災害に負けることはないと信じております。皆様のご健康をお祈りいたします。



▲心臓手術の様子

心 臓 血 管 外 科 医 師      ご 挨 拶

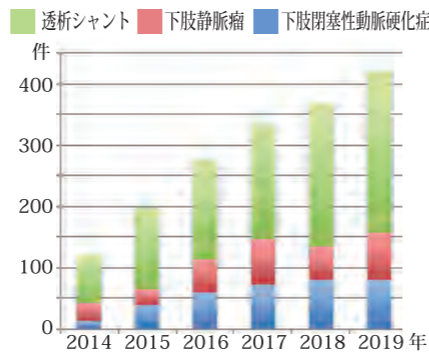


部長  
只腰 雅夫

当院で血管外科を担当させていただいて7年目を迎えました。下肢の動脈が細くなり(下肢閉塞性動脈硬化症)壊疽を生じた患者さんから、透析のシャントトラブルを起こした患者さんなど、多岐に渡って診ております。早期の治療に心がけ、術後の臨時透析も行っています。

下肢静脈瘤の患者さんは、ラジオ波焼灼術を導入して1泊2日の入院治療とすることで、疼痛とストレスの軽減を図っています。また、退院前エコー検査によるエコノミークラス症候群チェックを行い、安心・安全を心がけています。

血管外科症例は毎年増加しています。今後も多くの患者さんを救えるよう研鑽を重ねて参りますので、よろしくお願い申し上げます。



部長  
上川 雄士

2020年5月より心臓血管外科にて研鑽をさせていただいております。

出身は神戸ですが、仙台徳洲会病院で心臓血管診療を行ってまいりました。仙台での心臓血管治療の発展のために、当科の末席に加えさせていただきながら、患者さんにとってのベストな治療を経験させていただいております。

この経験を遠くはなりますが、仙台に持ち帰り、名古屋チームとともに地域医療に貢献できればと考えております。心臓血管外科グループの発展と地域の皆様の健康維持のお役に立てること、疾病の撲滅を願いながら診療に努めたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



医長  
景山 聡一郎

この度、4年ぶりに名古屋で勤務することとなりました景山聡一郎と申します。2007年より10年間当院でお世話になり、4年前より東京西徳洲会病院に異動しておりましたが、今年の6月より再び当院に戻ることとなりました。外来では、以前診させていただいていた患者さんが変わらずお元気に通院されている姿を見ることが出来て、本当にうれしく感謝しております。心臓外科の分野はこの数年間だけでも目覚ましい進歩を遂げています。新たな治療法、新たな手術が生まれることで、それまでは治療出来なかった患者さんがお元気になる姿を見ることが出来るのは、心臓外科医としてこの上ない喜びです。今後も慢心することなく研鑽を積み、今まで以上にたくさんの患者さんがお元気になるよう努力いたします。



部長  
児島 昭徳

世間が依然として慌ただしい中、いかがお過ごしでしょうか。緊急手術を要する患者さんに対しまして、できる最善の処置を行うために、日々精進を続けております。

TAVIや、ダヴィンチによる手術なども着々と症例を重ねており、引き続き低侵襲心臓手術を積極的にすすめており、患者さんの負担を減らせるよう努力しております。重症心不全の方には、先進医療のインペラも非常に有用な機器であり、簡便に挿入でき、短時間での治療効果があります。患者さんの症状に合わせて様々な選択肢を提供できるようにしております。

当院において手術を受けられる患者さん及びそのご家族様に、より満足していただけるよう、ハートチームの一員として励みたいと思います。



山内 博貴

現在、離島応援のため与論島にて地域医療に従事しております。地域医療のため内科外科関係なくまた小児科も診させていただいております。

報道でご存知かもしれませんが、現在与論島では島外から持ち込まれた新型コロナウイルス感染症によってパンデミックと言っても過言ではない状況です。第一例が見つかったからは、島内含めて生活が激変しております。人口5千人の島の特性上、拡大の勢いは凄まじいもので、日々変わる状況に翻弄されながらも何とか治療にあたっております。

今後は、当院並びに近隣の流行に備えて、与論での経験を生かしていこうと思っております。更なる研鑽に励む所存です。皆様今後ともよろしくお願い申し上げます。



日置 薫

当科で働き始めて1年と数ヶ月が経過しました。こちらの環境にも慣れ、少しずつできることが多くなってきました。しかし、技術的にはまだまだ未熟なため、先輩医師にしっかり教わりながら日々努力を続けております。

現在、月曜に外来診察しており、自分が手術にかかわった患者さんと話をする機会ができました。元気そうな姿を見ると安心するとともに、今後は、もっと自身で出来る事を増やし、多くの患者さんを助けていきたいとも思いました。

日々、頑張りますので今後とも宜しくお願い致します。



菱川 敬規

術後の会の皆様、初めまして。今年の4月より当院心臓血管外科へ赴任してきました菱川と申します。初めの頃は戸惑うことばかりでしたが、少しずつ春日井の地にも慣れてきました。今は心臓血管外科医として日々精進しながら誠心誠意診療にあたらせていただいております。

昨今、新型コロナウイルス感染症により医療現場が混乱しておりますが、惑わされることなく地に足をつけ、しっかり経験を重ねていこうと思っております。

指導医師の下、一人前になれるよう努めさせていただきますので何卒宜しくお願い申し上げます。

## 検査科

# 新型コロナウイルス (COVID-19)について



検査科  
副技師長  
木村 圭祐

## 新型コロナウイルスとは…

新型コロナウイルス(COVID-19)とは、2019年12月に中国の武漢市に端を発した肺炎患者の集団発生の原因ウイルスであり、世界的に感染者が拡大し、国内でも2020年2月1日には『指定感染症』に指定されました。その後、全国で市中感染が拡大し4月16日には全国に緊急事態宣言が発令され、感染者数が減少し緊急事態宣言が解除されましたが再び大規模な市中感染が起きています。

人に感染するコロナウイルスには、2002年中国・広東省に端を発した重症急性呼吸器症候群(SARS)、2012年アラビア半島で流行した中東呼吸器症候群(MERS)などがあります。今回の新型コロナウイルスは、これらとは異なるウイルスであり、主に呼吸器感染を起こします。

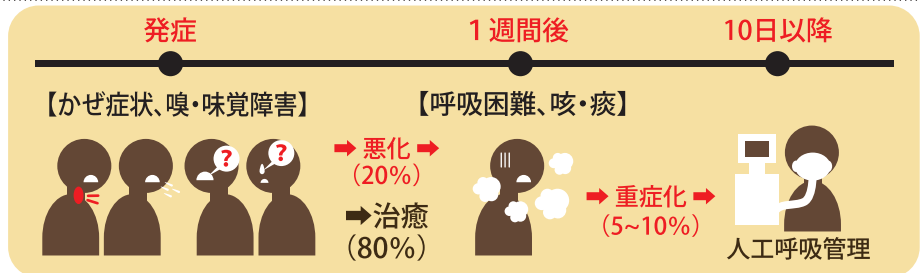
## 感染経路

飛沫感染が主体と考えられ、換気の悪い環境では、咳やくしゃみなどがなくても感染すると考えられます。また、接触感染もあると考えられています。有症者が感染伝播の主体であるが、無症状病原体保有者からの感染リスクもあります。

## 潜伏期・感染可能期間(他者に移す可能性のある期間)

潜伏期は1~14日間であり、曝露から5日程度で発症することが多い(WHOより)。発症時から感染性が高いことは市中感染の原因となっており、SARSやMERSと異なる特徴です。

感染可能期間は、発症2日前から発症後7~14日間程度と考えられています。なお、血液、尿、便から感染性のあるCOVID-19を検出することはまれです。

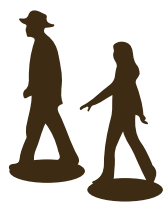


## 症状

発熱、咳、筋肉痛、倦怠感、呼吸困難などが比較的多くみられ、頭痛、喀痰、血痰、下痢、味覚障害、嗅覚障害などを伴う例も認められます。1週間以上継続する発熱や呼吸器症状に特に注意する必要があります。

## 感染対策

COVID-19は、アルコールを用いた手指消毒、石鹸と流水を用いた手洗いのいずれも有効です。飛沫感染予防策としてウイルスを含む飛沫が目、鼻、口の粘膜に付着するのを防ぐ、接触感染予防策としてウイルスが付着した手で目、鼻、口の粘膜と接触するのを防ぐことが重要です。



# プラス・テン

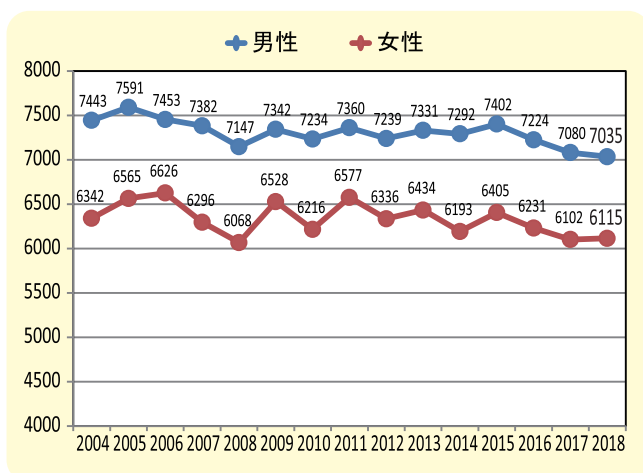
～毎日プラス10分身体を動かそう～

会員の皆様、運動は継続されていますか？今回は簡単に分かる運動の目安、歩数についてと、厚労省が勧める「プラス・テン」についてお話させていただきます。歩数は歩数計を身に着けることで簡単に計測することが出来ます。

下のグラフは、男女別の朝起きてから夜寝るまでの1日平均歩数です。2018年では男性：7035歩、女性：6115歩です。



リハビリテーション科 室長  
大竹 浩史



## プラス・テンとは

厚労省が推奨する「スマート・ライフ・プロジェクト」の1つに「プラス・テン」があります。これは、今よりもプラス10分歩くことで、歩数は1,000歩増加し、死亡(2.8%)、生活習慣病等発症(3.6%)、がん発症(3.2%)、ロコモや認知症発症(8.8%)のリスクを約3%～最大約9%も減らすことができます。

また、2～3ヶ月で血圧を1.5mmHg減らすことができると言われており、まずは無理せず徐々に運動を始めていくことを推奨するものです。

## 自粛生活でも運動をしよう！

また、最近の調査では新型コロナウイルスの影響により、自粛生活による生活習慣の変化から1日3,000歩未満の人がコロナ影響前は17.8%だったのが、緊急事態宣言では28.4%に増加しました。体重の変化については40%以上の人が増えたことが分かっています。

現状では外出しにくい状況ですが、「プラス10分」感染に注意をしながらスポーツ庁の指針に沿ってウォーキングする事や、お家で足踏みやスクワットなどの運動を「プラス10分」することで健康維持に努めて頂きたいと思います。運動を継続して再発を予防し、いつまでも健康的に過ごせるようにしましょう。

## 安全に運動するポイント！

### 体調をチェック

- 平熱を超える発熱
- だるさ、息苦しさ
- 嗅覚、味覚の異常
- 身体が重く感じる、疲れやすい等
- 咳、のどの痛みなど風邪の症状



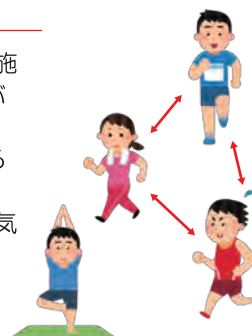
### 感染防止の3つの基本

- 十分な距離の確保
- マスクの着用
- 手洗い・手指消毒



### 運動時の留意点

- 一人または少人数で実施
- 空いた時間、場所を選ぶ
- 他人との距離を確保
- すれ違う時、距離をとる
- 自宅で筋トレやヨガ
- 室内ならばこまめに換気



# 術後体験記



K.Hさん 59歳 男性



約14年半前の年の瀬に急性心筋梗塞で倒れ、他院にてステント治療を受けました。その際から禁煙や処方された薬をしっかり飲み続け、狭心症などになる事なく今年まで来ました。

そのような中、周囲の親族が昨年秋からバイパス、ステント、バイパスと立て続けに名古屋徳洲会総合病院にお世話になる事となり、私も少々心配にもなっかかり付け病院にてCT検査を行った結果、3枝病変との事で、バイパス手術することとなりました。

Web上の評価もさることながら、身内の「生の声」が何よりも私の背中を押してくれました。特に術後大幅にQOLが向上したと言うのも魅力でした。大橋総長始めチームの皆様からも自覚症状が出る前に早く手術が出来るのは良い事と言われ手術に臨みました。

ICUでの抜管など一時的に苦い体験もありましたが、その都度、医師や看護師の方からお声掛け頂けるので安心して入院生活を過ごすことができました。ICUは6日で終わり病棟へ移りましたが、ここでもチームの皆様の早期離床に向けてのリハビリが効果を上げました。着々と院内歩行を積み重ね、術後9日目に退院スケジュールを検討する所まで回復しました。なんと入院から数えて2週間での退院となりました。杖や車椅子に頼らず自らの足で退院する喜びを今感じております。

大橋総長を中心としたチームの皆様の優れた技術、設備、そして私たち患者ファーストに温かいケアを賜り、このように早期に退院ができたのを心より感謝をさせていただきます。ありがとうございました。



Y.Kさん 73歳 女性(娘さんより)



2020年7月6日(月)微熱が続いていたので大きな病院での検査を母に勧め名古屋徳洲会総合病院にて調べていただき、すぐに緊急手術となりました。

びっくり首かと思っていたらまさかの大動脈解離。父と私は先生の説明を聞いて呆然としました。しかし先生の説明が分かりやすく丁寧で、しかもこの先生なら信頼できると先生方の雰囲気や対応に好感が持てました。

的確な対応、スピード、説明、すべてが完璧だと感じました。不安の中でのICUスタッフの私たちへの心遣いも感じ、とても心強かったです。看護師の方々や、リハビリのスタッフの言葉遣いや、親切で愛情を持った患者さん一人ひとりへの接し方に人として尊敬の思いを持たずにはいられてませんでした。お世話になり心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



Y.Kさん 72歳 男性



2019年末、胸が痛み一晩寝れば治るであろうと、寝床に就きましたが朝になっても痛みは取れず、近くの病院で受診しました。検査結果で急性心不全と診断され、ステント治療を施して頂き、そのまま入院となりました。

その時、重要な前下行枝6番の血管が長年に渡りコレステロールが石灰化し閉塞されていることと、極細の側副血行路が出来ていることが判明しました。大事に至らなかったのはこの側副血行路のおかげでもあったと思います。閉塞している血管にステント治療を施して頂きましたが、うまくいきませんでした。主治医よりローターブレードによるステント治療もしくは冠動脈バイパス術しかないと言われてましたが、名古屋徳洲会総合病院の心臓血管外科の評判は以前から聞いていたので迷うことなく紹介状を書いていただきました。手術はダヴィンチで4時間近くかかり、翌朝ICUのスタッフの皆様にお世話になっていました。気に掛けていました後遺症もなく安心いたしました。さすがダヴィンチ手術、傷痕の小ささに驚きました。短期間の入院でしたが、スタッフの皆様には非常に親切にいただきました。特に術後の身体が動かない状況の中お世話してくださいましたICU、HCUのスタッフの皆様には本当に感謝しております。ありがとうございました。

スタッフの皆様は退院の挨拶をしたところ全員の方が廊下に出て見送って下さいました。何か照れ臭く感じました。

「また来ます」とは言えず病棟をあとにしました。

人生100年といいますが、毎日健康造りに励み、まずは男性平均寿命81.4歳を目標に生きて行きます。

追伸：看護師の皆様、渦中の新型コロナウイルスに感染なさらないよう業務に励んで下さい。



F.Hさん 76歳 男性



この度は、ありがとうございます(世の中は礼に始まり礼に終わる)。大橋総長、看護師長をはじめ、元気印の3名の男性スタッフが絶妙な位置づけ(それぞれが適所な立ち位置)であり、各スタッフの作業手順にはとても感服いたしました。

2月末～3月頭の間お世話になり、厚く御礼申し上げます。

今後は健康第一、元気で明るく大声で、勝つ(且つ)プラス思考で笑顔を忘れず、感謝の気持ちとありがたいの心で前進します。本当にありがとうございました。

## ご挨拶

心臓血管外科術後の会 会長  
橋口 順子



梅雨晴れと共に酷暑の毎日が続いておりますが、会員の皆様お体の具合は如何ですか？

色々慌ただしい毎日を過ごす今の生活は、大変なことばかりですが、くれぐれもお体に気を付けてお過ごし下さいませ。

術後の会も振り返ってみれば只懐かしく思われます。大橋先生をはじめ職員の方々が、親睦の和を広げるため一生懸命に活動して下さいましたお陰で会が発展したことはいうまでもなく、色々な思い出を戴いた当会には伝えきれぬ感謝の気持ちで一杯です。さらに折ある事に、様々な方から口コミで伝わってくる心臓血管外科の素晴らしい評判を聞いたたびにとても誇らしい気持ちになります。

私は不束な人間ですが、二十年以上参加し、見守り続けて来られたのは一重に皆様のお陰と思っております。現在、少し体を悪くし、生活に不自由さを感じる時もありますが、負けないう前向きな気持ちで毎日を過ごしております。役員として充分お役に立てるか不安に思う時もありますが、皆様と共に進んでいこうと思っております。

昨今、新型コロナウイルス感染症が流行し、社会情勢が不安定な状態で暗くなりがちですが、気持ちだけは明るく毎日を過ごしていきましょう。

## トピックス

10月7日(水)

### 【オンライン心臓血管外科術後医療講演のお知らせ】

今回、10月7日(水)14時から16時まで『オンライン心臓血管外科術後医療講演』を開催いたします。心臓血管外科の代表的な手術について分かりやすく解説致します。

また、質疑応答の時間も設けておりますので、ご不明な点がありましたら是非ご質問下さい。お待ちしております。

#### 『心臓血管外科手術後に 気を付けること』



心臓血管外科 総長  
大橋 壯樹

#### 『血管手術、シャント後に 気を付けること』



心臓血管外科 部長  
只腰 雅夫

※講演の詳細は別紙に記載されております。